



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社プラザホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7502 URL <https://www.plazaholdings.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大島 康広
問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）堤 俊之 TEL 03-3532-8812
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	4,607	17.9	50	—	37	—	19	262.7
2025年3月期第1四半期	3,907	1.4	△42	—	2	—	5	—

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 10百万円（△11.5％） 2025年3月期第1四半期 11百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	8.54	—
2025年3月期第1四半期	2.26	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	10,607	2,126	20.0	913.42
2025年3月期	11,624	2,220	19.1	957.35

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 2,126百万円 2025年3月期 2,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	19,000	1.9	350	4.0	280	△27.9	200	△27.5	84.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	2,439,433株	2025年3月期	2,439,433株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	111,400株	2025年3月期	120,640株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	2,320,266株	2025年3月期1Q	2,412,182株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、T D n e t で開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進むなど、緩やかな回復基調で推移したものの、米国の通商政策の動向や地政学的リスクの高まり、長引く物価上昇による消費マインドの低下など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような事業環境において、当社グループは引き続き、モバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたイメージング事業の新たな収益の柱となる事業の創出に積極的に取り組んでまいりました。

モバイル事業においては、スマートフォンの値上がりによる買い替えサイクルが長期化しておりスマートフォンの販売台数が伸び悩む一方で、SIMのみの回線契約が増えており回線獲得件数は前第1四半期連結累計期間と比較して増加しました。また、低価格機種から中位価格機種への販売に注力した結果、販売単価が上昇し、前第1四半期連結累計期間と比較して売上高は増収となりました。店舗外での販売イベントも集客力のある開催場所を選定したうえで引き続き積極的に開催したことにより回線契約件数を確保の生産性が向上したこと、新たなストック収入となっている販売後の利用サポートのサブスクリプションサービスを案内し、加入者が順調に増えていることから、売上総利益は、前第1四半期連結累計期間と比較して増加しました。

なお、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、75店舗となっております（前連結会計年度末79店舗、前第1四半期連結累計期間末80店舗）。

デジタルデバイスや周辺ソリューションへの企業ニーズが高まってきていることから、当社の店舗に来店される法人顧客に対しましては、法人営業部門が端末の販売に加え、企業のDX推進をサポートしてまいりました。

以上の結果、モバイル事業の業績は、増収、増益となりました。

イメージング事業におきましては、国連教育科学文化機関（ユネスコ）などが2019年に発した「マグネティック・テープ・アラート」（ビデオテープなど磁気テープに記録された映像が、テープの劣化や再生機器の生産終了により、2025年を目安に見られなくなる可能性を指す問題）の報道により当社が提供する「なんでもダビング」サービスに受注が殺到して、サービス提供が追いつかない状況となっております。

なお、パレットプラザの店舗数は、当第1四半期連結累計期間末には、フランチャイズ店舗151店、直営店舗15店となりました（前連結会計年度末フランチャイズ店舗157店、直営店舗は12店、前第1四半期連結累計期間末フランチャイズ店舗163店、直営店舗は13店）。

つくるんです事業は、新規に取引を開始した量販店でのインバウンド需要を取り込むことができ販売が好調でした。

パーソナル・ミーティング・ボックス「One-Bo（ワンボ）」の販売については、テレワークからオフィス出社へ回帰が進むなかでもオンライン会議が定着したことにより好調に推移しております。引き続き販売体制と製品ラインアップを強化してまいります。

以上の結果、イメージング事業の業績は、増収、赤字額の縮小となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、46億7百万円（前年同期比：17.9%増）となり、営業利益50百万円（前年同期：営業損失42百万円）、経常利益37百万円（前年同期：経常利益2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益19百万円（前年同期比：262.7%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①イメージング事業

「バレットプラザ」の「なんでもダビング」、つくるんです商品の売上高が好調に推移したことで、売上高は8億74百万円（前年同期比：15.9%増）、セグメント損益は63百万円の損失（前年同期：1億7百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

スマートフォンの回線獲得件数が増加したこと、新たな収益源の獲得、販売イベント経費の見直しなどにより、売上高は37億33百万円（前年同期比：18.4%増）、セグメント損益は1億70百万円の利益（前年同期比：64.7%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産の額は106億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億16百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が7億37百万円、流動資産その他が2億64百万円、現金及び預金が1億50百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債の額は84億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億23百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が4億94百万円、長期借入金が3億31百万円、賞与引当金が49百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産の額は21億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益19百万円が発生した一方で、配当金の支払額1億21百万円により利益剰余金が1億2百万円減少したことなどによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の19.1%から20.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,682,989	1,532,097
受取手形及び売掛金	2,264,627	1,526,883
商品及び製品	2,108,330	2,181,432
原材料及び貯蔵品	220,192	221,978
その他	1,158,307	894,027
貸倒引当金	△45,208	△45,208
流動資産合計	7,389,239	6,311,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,952,603	1,998,428
減価償却累計額	△1,081,513	△1,087,196
建物及び構築物（純額）	871,089	911,232
機械装置及び運搬具	746,116	745,731
減価償却累計額	△676,669	△682,429
機械装置及び運搬具（純額）	69,446	63,301
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	1,200,228	1,180,323
減価償却累計額	△1,109,908	△1,096,964
リース資産（純額）	90,320	83,359
その他	835,303	901,128
減価償却累計額	△619,993	△615,199
その他（純額）	215,310	285,929
有形固定資産合計	2,757,415	2,855,071
無形固定資産		
のれん	164,057	154,875
その他	119,031	106,868
無形固定資産合計	283,089	261,743
投資その他の資産		
敷金及び保証金	982,340	972,156
その他	303,104	298,397
貸倒引当金	△90,741	△90,741
投資その他の資産合計	1,194,703	1,179,812
固定資産合計	4,235,207	4,296,627
資産合計	11,624,447	10,607,839

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,579,627	1,085,090
短期借入金	3,419,425	3,415,094
リース債務	27,419	26,228
未払法人税等	11,962	1,278
賞与引当金	103,294	53,322
株式報酬引当金	19,790	5,350
その他	796,447	791,796
流動負債合計	5,957,967	5,378,161
固定負債		
長期借入金	3,028,351	2,696,471
リース債務	69,279	63,560
退職給付に係る負債	22,124	22,124
資産除去債務	134,548	134,654
長期預り保証金	160,844	159,984
その他	31,132	26,120
固定負債合計	3,446,280	3,102,914
負債合計	9,404,247	8,481,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	665,957	665,957
利益剰余金	1,681,542	1,579,412
自己株式	△239,079	△220,717
株主資本合計	2,208,419	2,124,652
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,480	1,810
その他の包括利益累計額合計	11,480	1,810
新株予約権	300	300
純資産合計	2,220,199	2,126,762
負債純資産合計	11,624,447	10,607,839

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,907,017	4,607,751
売上原価	2,471,229	2,846,504
売上総利益	1,435,787	1,761,247
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	146,616	194,457
給料手当及び賞与	452,908	470,567
賞与引当金繰入額	53,532	51,949
雑給	40,549	49,607
賃借料	179,973	180,669
支払手数料	361,472	456,846
のれん償却額	6,774	12,248
その他	236,026	294,237
販売費及び一般管理費合計	1,477,854	1,710,582
営業利益又は営業損失（△）	△42,066	50,664
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,352	2,647
協賛金収入	461	158
償却債権取立益	—	3,500
為替差益	13,170	—
助成金収入	358	240
有価証券運用益	32,815	6,489
その他	12,533	2,601
営業外収益合計	60,691	15,636
営業外費用		
支払利息	15,987	25,741
為替差損	—	3,003
その他	14	140
営業外費用合計	16,002	28,884
経常利益	2,622	37,416
特別利益		
固定資産売却益	15,211	1,144
特別利益合計	15,211	1,144
特別損失		
減損損失	11,891	75
店舗閉鎖損失	2,400	15,239
特別損失合計	14,291	15,315
税金等調整前四半期純利益	3,542	23,245
法人税、住民税及び事業税	1,361	3,142
法人税等調整額	△3,280	293
法人税等合計	△1,918	3,435
四半期純利益	5,460	19,809
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,460	19,809

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	5,460	19,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,996	△9,669
その他の包括利益合計	5,996	△9,669
四半期包括利益	11,457	10,139
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,457	10,139
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	65,103千円	66,833千円
のれんの償却額	6,774	12,248

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	754,483	3,152,534	3,907,017	3,907,017	—	3,907,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	754,483	3,152,534	3,907,017	3,907,017	—	3,907,017
セグメント利益又は損 失 (△)	△107,822	103,686	△4,135	△4,135	△37,930	△42,066

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△37,930千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△78,386千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額40,455円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した店舗等の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において3,334千円、「モバイル事業」において8,557千円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	874,332	3,733,419	4,607,751	4,607,751	—	4,607,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	874,332	3,733,419	4,607,751	4,607,751	—	4,607,751
セグメント利益又は損 失 (△)	△63,391	170,756	107,364	107,364	△56,700	50,664

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△56,700千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△96,421千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額39,720千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した店舗等の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において72千円、「モバイル事業」において3千円であります。